## 袋井市男女共同参画に関する市民意識調査

### 調査ご協力のお願い

市民の皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

袋井市では、男女共同参画社会(誰もが性別にとらわれることなく、それぞれの個性と能力を活かしながら、あらゆる分野で活躍できる社会)に向けての取り組みを平成27年度に策定した「第3次袋井市男女共同参画推進プラン」に基づき、進めています。

今回の調査は、このプランの見直しや今後取り組みを進めていくにあたり、市民の皆さまのお考えをお聞かせいただくため、袋井市にお住まいの18歳以上の男女あわせて3,000人の方を無作為に選び、実施するものです。

お答えは、すべて無記名で統計的に処理し、調査の目的以外の使用はいたしませんので、ご回答いただきました方にご迷惑をおかけすることは決してありません。

お忙しいところ大変恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年5月

袋井市長 原田英之

#### 調査票のご記入にあたってのお願い

- お答えは、あて名ご本人のお考えでご記入ください。
- ご自分の考えや、それに近いもののあてはまる番号を○で囲んでください。
- その他を選んだときは( )内に具体的内容をご記入ください。
- 〇 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手は必要ありません) にて、6月12日(金)までにポストにご投函ください。

(ご住所、お名前を記入する必要はありません。)

◇この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

### 袋井市総務部協働まちづくり課コミュニティ推進室

〒437-8666 袋井市新屋一丁目1番地の1 電話:44-3107 FAX:43-2132 E-mail: shimin-kyodo@city.fukuroi.shizuoka.jp

## 「男女共同参画社会」ってなに?

男女共同参画社会とは、

「誰もが性別にとらわれることなく、それぞれの個性と能力を活かしながら、 あらゆる分野で活躍できる社会」 のことです。

## 職場

重要な役割は男性、補助的な役割は女性などと決めつけるのではなく、 その人個人の能力が発揮できる職場 を目指しましょう。



## 地域

地域は男女が共につくるものです。 地域の活動等に積極的に参画し、より よいまちをつくりましょう。



男女が共に 自立し参画する 社会づくり

## 家庭

家事、育児、介護など性別にかか わりなく、家族みんなで分かち合い、 支え合い、助け合いましょう。



## 学校

男の子だから、女の子だからと決め つけず、自分らしさを大切にしながら、 個性を尊重しましょう。



※「参画(さんかく)」という言葉は、単に参加するということだけでなく、方針の立案や意思決定への参加ということ を意味します。

男女共同参画社会の実現に向け、施策を進めてきましたが、「男は仕事、女は家庭」といった言葉に代表される固定的な性別役割分担意識は、一人ひとりの意識や制度、慣行に根強く残り、男女共同参画が進まない要因の一つとなっています。

市民の皆さまのご意見をお伺いし、今後の施策の展開に役立てていきたいと考えております。あなたの生活をもう一度振り返って、率直な考えをお聴かせください。

#### ■ あなたご自身のことについておたずねします。

※すべてについて、あてはまるもの1つに0をつけてください。

#### 問1 あなたの性別は。

1. 男性

2. 女性

3. その他

#### 問2 あなたの年齢は。

1. 10歳代

2.20歳代

3.30歳代

4. 40歳代

5.50歳代 6.60歳代

7. 70歳代

8.80歳以上

#### 問3 あなたの主な職業は。

1. 勤め人(フルタイム)

2. 勤め人 (パートタイム等)

3. 自営業(農林漁業、商工業等)

4. 専業主夫・主婦

5. 学生

6. 無職

)

7. その他(

問4 あなたは現在結婚されていますか。

1. 結婚している(事実婚を含む) 2. 結婚していない

3. 結婚していたが、離婚・死別した

#### 問5 あなたの家族の構成は次のどれですか。

1. 単身世帯(ひとり暮らし)

2. 1世代世帯(夫婦のみ)

3. 2世代世帯 (親と子など)

4. 3世代世帯 (親と子と孫など)

5. その他(

#### 問6 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。

1. 同居している子どもがいる

2. 子どもはいるが同居していない

3. 子どもはいない

## <問6で、「同居している子どもがいる」とお答えの方に伺います。>

먐	16-	2	同居し	<i>、</i> ているお	子さんの	人数と-	-番下	のお子さん	んの年	給区分	を 教える	てく	ださし	1
1-2	$\sim$	_		<i>-</i>	J C/00/	$\sim$			フンコー	一回りピンフ	こうかんし	· ·	$\sim$	, .0

		お子さ	んの人数(		)人					
		1. 乳	児(1歳未満)	)	2.	幼児(6歳	未満)	3.	小学生	
		4. 中	学生		5.	高校生以上-	で未成年	6.	成人	,
<b>.</b>	男子	女平等に	関する意識や	ご家庭	こと	についてお	たずねし	ます。		
問7	あ	なたは、	「男女共同参	画社会」	しという	言葉やその意	意味を知っ (あてはま			_
_	1.	意味も含	めて知ってい	た	2.	聞いたことに	<b>すあるが、</b>	意味はよ	く知らなかっ	った
3	3.	知らなか	った(初めて	聞いた)	4.	その他(			)	
問8	Γ		が働き、妻は家 いて、どのよ							
_	1.	賛成			2.	どちらかとし	ハえば賛成	Ź		
(	3.	どちらか	といえば反対		4.	反対 	5.	わからない	, )	
問9			3女の役割分担 れですか。 (a				のお考えに	最も近い	ものは	
/	1.	男女とも	に仕事をし、	ともに刻	家事・育	児・介護をす	けるのがよ	<i>د</i> ۱		
2	2.	どちらで	も時間や気持っ	ちに余裕	浴がある	方が家事・育	別・介護	をするのカ	がよい	
3	3.	男性は仕	事を中心にし、	、女性に	<b>才家事</b> •	育児・介護を	中心にす	るのがよい	, )	
_	4.	女性は仕	事を中心にし、	. 男性に	家事・	育児・介護を	中心にす	るのがよい	, )	
5	5.	男女とも	に仕事をする	が、家事	■•育児	<ul><li>介護は男性</li></ul>	性の役割で	ある		
(	3.	男女とも	に仕事をする	が、家事	■•育児	<ul><li>介護は女性</li></ul>	性の役割で	ある		
-	7.	その他(						)		
3	3.	わからな	:61							

問10 あなたは、次の分野で、男女が平等であると思いますか。各項目について、 あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(それぞれ1つにO)

	男性が非 常に優遇	どちらかと いえば男性 が優遇	平等	どちらかと いえば女性 が優遇	女性が非 常に優遇	わからな い
①家庭生活で	1	2	3	4	5	6
②就職活動の場や職場で	1	2	3	4	5	6
③学校や教育の場で	1	2	3	4	5	6
④地域活動の場で (自治会・PTA等)	1	2	3	4	5	6
⑤政治の場で	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
<ul><li>⑦社会通念・慣習・しきたり</li><li>などで</li></ul>	1	2	3	4	5	6

<問4で、「結婚している(事実婚を含む)」とお答えの方に伺います。>

問11 あなたのご家庭では、次のような役割を主にどなたが担っていますか。 (それぞれ1つにO)

	主に夫	主に夫だ が、妻も 分担	夫と妻が 同程度	主に妻だ が、夫も 分担	主に妻	わからな い	子どもや 親がいな い
①家計を支える (生活費を稼ぐ)	1	2	3	4	5	6	
②掃除·洗濯·食事の支 度などの家事をする	1	2	თ	4	5	6	
③ごみ出しなどの 簡単な家事をする	1	2	3	4	5	6	
④日々の家計の管理 をする	1	2	3	4	5	6	
⑤育児・子どもの しつけをする	1	2	3	4	5	6	7
⑥親の世話(介護) をする	1	2	3	4	5	6	7
⑦自治会などの地域 活動を行う	1	2	3	4	5	6	
⑧子どもの教育方針 や進学目標を決める	1	2	3	4	5	6	7
⑨高額な商品や土地・ 家屋の購入を決める	1	2	3	4	5	6	

#### ■ 男性が家事・育児・介護へ参加することについておたずねします。

#### 問12 男性が「育児や介護」などの休暇・休業を取得することについて、 あなたはどのようにお考えですか。(それぞれ1つに〇)

	とった方 がよい	どちらか といえば とった方 がよい	どちらか といえば とらない 方がよい	とらない 方がよい
①育児休暇(育児のために取得する休暇)	1	2	თ	4
②育児休業(育児のために一定期間休業できる制度)	1	2	Э	4
③子の看護休暇(病気等の子どもの看護のための 年5日程度の休暇)	1	2	3	4
④介護休暇(短期の介護のための年5日程度の休暇)	1	2	თ	4
⑤介護休業(介護のために一定期間休業できる制度)	1	2	Э	4

#### 問13 あなたは、男性の育児休業の取得が進まない理由は何だと思いますか。 (あてはまるものすべてに〇)

- 1. 職場の理解が得られないから
- 2. 職場に育児休業の制度がない・知らないから
- 3. 育児休業中の家計が不安だから
- 4. 育児休業中の仕事を引き継げる人がいないから
- 5. 取得することで出世にひびきそうだから
- 6. 復職後の役職や給与が下がりそうだから
- 7. 配偶者が取得するため必要ないから
- 8. 男性は仕事、女性は家事・育児をすべきという風潮(取りにくい雰囲気)があるから

)

- 9. 男性の子育てに関する知識不足(育児に自信がないから)
- 10. 男性の育児休業に対して家族の理解が得られないから
- 11. その他(具体的に:

12. わからない

#### ■ 地域活動についておたずねします。

#### 問14 あなたが現在参加している地域活動をお答えください。(あてはまるものすべてにO)

1. 福祉ボランティア活動

2. 自治会の活動

3. 子ども会・PTA・青少年の育成活動 4. 高齢者団体の活動

5. 各種女性団体の活動

6. 消費者団体等の消費者活動

7. 趣味・スポーツ等のサークル活動 8. 環境・美化・自然保護活動

9. 防災・消防に関する活動

10. 地域おこし・まちづくり・観光に関する活動

11. その他(

) 12. 活動していない

#### 問15 あなたは、女性が自治会長などの役職につくことが少ない理由は何だと思いますか。 (あてはまるものすべてに〇)

- 1. 社会的・文化的に、性別によって役割を固定する考え方や意識が残っているから
- 2. 家族の理解や協力が得られにくいから
- 自治会長などの役職は、世帯主が受けているから(世帯主は男性であることが多いから)
- 4. 女性自身が、長などの役職につくのに消極的だから
- 5. 女性は身体的能力が男性より劣っているから
- 6. 活動時間帯が女性に合っていないから
- 7. 女性は、指導的な業務より補助的な業務の方が得意だと思うから
- 8. 世間的に快く思われないから

9. その他( )

10. わからない

#### 問16 東日本大震災や熊本地震などの教訓から、防災に対して男女共同参画の視点が必要 だと指摘されています。災害に強い地域をつくるためには、どのようなことが必要 だと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1. 自主防災組織の役員・リーダーを男女両方が担う
- 2. 自主防災組織の業務の分担を決める時、男女の役割を固定的に考えないようにする
- 3. 災害時に、性別や年齢、妊産婦、障がいの有無など、必要に応じた配慮ができるよう あらかじめマニュアルなどで体制や対応を決めておく
- 4. 日頃の近所づきあいで顔を知っておき、いざという時に助け合える関係をつくっておく
- 5. 女性や乳幼児などが必要とする物資を、災害に備えて地域でも備蓄しておく
- 6. 男女が共に参画する防災訓練を実施する
- 7. その他( )
- 8. わからない

#### ■ 人権についておたずねします。

- ◆セクシャル・ハラスメント(セクハラ)とは…職場・学校・地域活動等において、本人の意に 反したり、攻撃的で屈辱的な性的言動や勧誘により、仕事などをしていくうえで、一定の不利益 を受けたり環境が悪化すること。
- ◆ドメスティック・バイオレンス(DV)とは…配偶者やパートナーなどから、殴る、蹴る、物を投げつけるなどの身体的暴力、レイプなどの性的暴力、ののしる、おどす、無視をするなどの精神的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力を受けること。
- ◆LGBTとは…性的少数者(性的マイノリティ)の一部である「Lesbian・レズビアン(女性の同性愛者)」「Gay・ゲイ(男性の同性愛者)」「Bisexual・バイセクシュアル(両性愛者)」「Transgender・トランスジェンダー(身体の性と心の性が一致しない状態やどちらの性別にも違和感を持つ人)」の頭文字を並べた略称のこと。
- ◆性的少数者とは…性的指向(どの性別を恋愛・性愛の対象とするか)あるいは性自認(自己をどの性別と認識するか)に関するマイノリティ(少数者)のこと。
- ★立ち入った質問になりますが、調査へのご協力をお願いいたします。 ※この調査は無記名で実施しており、回答された方にご迷惑がかかるようなことは一切ございません。
- 問17 これまでに、セクシャル・ハラスメント(セクハラ)について経験したり、 見聞きしたことがありますか。(あてはまるものすべてに〇)
  - 1. セクハラを受けたことがある
  - 2. 身近にセクハラを受けた人がいる
  - 3. セクハラを受けた人から相談されたことがある
  - 4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある
  - 5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている
  - 6. 経験したり見聞きしたことはない
  - 7. その他(

<問17で「セクシャル・ハラスメント受けたことがある」とお答えの方に伺います。>

#### 問17-2 セクシャル・ハラスメントを受けた場所はどこですか。 (あてはまるものすべてにO)

- 1. 学校
- 2. 就職活動の場
- 3. 職場
- 4. 地域活動の場
- 5. その他(

#### 問17-3 あなたは、セクシャル・ハラスメントを受けたとき、あるいはその後、 どのような対応をしましたか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1. セクシャル・ハラスメントを行った相手に抗議した
- 2. 家族や身近な人、友人に相談した
- 3. 公的な相談機関に相談した
- 4. 警察等に相談した
- 5. 職場や組織内の相談窓口に相談した
- 6. 仕方がないと思い、何もしなかった
- 7. 怖くて何もできなかった
- 8. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった
- 9. その他(

問18 これまでに、「夫や妻・パートナーなど親しい間柄にある男女間の暴力 (ドメスティック・バイオレンス)」について、経験したり見聞きしたことがありますか。 (あてはまるものすべてに〇)

- 1. 暴力を受けたことがある
- 2. 身近に暴力を受けた人がいる
- 3. 暴力を受けた人から相談されたことがある
- 4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある
- 5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている
- 6. 経験したり見聞きしたことはない
- 7. その他(

#### <問18で、「暴力を受けたことがある」とお答えの方に伺います。>

問1	8-2	! あなたは、夫・パートナーから暴力を受けたとき、あるいはその後、 どのような対応をしましたか。 (あてはまるものすべてに〇)	
	1.	暴力を振るった相手に抗議した	
	2.	家族や身近な人、友人に相談した	
	3.	公的な相談機関に相談した	
	4.	警察等に相談した	
	5.	仕方がないと思い、何もしなかった	
	6.	怖くて何もできなかった	
	7.	世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった	
	8.	その他(	)

- 問19 LGBTなど性的少数者(性的マイノリティ)について、どの程度知っていましたか。 (あてはまるもの1つに〇)
  - 1. 言葉と意味の両方を知っていた 2. 言葉は知っていた

- 3. 知らなかった
- 問20 あなたの周りにLGBTなど性的少数者の方はいますか。(あてはまるもの1つに〇)
  - 1. いる 2. いない 3. わからない
- 問21 現在、LGBTなど性的少数者の方々にとって、偏見や差別などの人権侵害により、 生活しづらい社会だと思いますか。(あてはまるもの1つに〇)
  - 1. そう思う

- 2. どちらかと言えばそう思う
- 3. どちらかと言えばそう思わない 4. そう思わない

■ 政策・方針決定過程への女性の参画についておたずねします。

#### 問22 あなたは、政策・方針決定の場に女性が参画することについて、 どのように考えますか。(あてはまるもの1つに〇)

- 1. 男性を上回るほど増える方がよい
- 2. 男女半々になるくらいまで増える方がよい
- 3. 男女半々まではいかなくても、今より増える方がよい
- 4. 今のままでよい
- 5. その他(
- 6. わからない
- 問23 袋井市における議員や審議会委員など、政策・方針決定の場における女性の数は 男性より少ないですが、その理由は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

<u>袋井市の状況(H31</u>)

●市議会議員の女性の数

19人中 2人(10.5%)

)

)

●審議会等委員の女性の数 891人中323人(36.3%)

- 2. 家庭・職場・地域・学校における性別による役割分担意識や性差別の意識があるから
- 3. 女性の側の積極性が十分ではないから

1. 男性優位の組織運営だから

- 4. 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないから
- 5. 女性の能力開発の機会が不十分だから
- 6. 女性が参画するための家族の支援・協力が得られないから
- 7. その他( )
- 8. わからない
- 問24 女性の社会参画を進めるためには、女性が活躍するためのチャレンジ支援が重要です。 このために、あなたは、行政としてどのような取組が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに〇)

- <女性の社会参画の例>
- ・政策や方針を決定する分野への参画
- ・企業家、技術者等、従来女性が少なかった分野への参画 ・子育てや介護等で一旦仕事を中断した女性の仕事復帰 など 1. カウンセラー等による相談の充実:
- 2. 起業や就職、社会貢献等の情報の提供
- 3. パソコン教室等の各種学習機会の提供
- 4. 企業等への女性参画についての意識啓発
- 5. 講演会や交流会等の情報交換する場の提供
- 6. 参考となる事例の紹介
- 7. その他(

#### 問25 今後、女性がもっと増える方がよいと思う職業や役職はどれですか。 (0は3つまで)

1. 閣僚、都道府県・市町村の首長 2. 国会議員、地方議会議員(県・市議会議員)

)

3. 国家公務員・地方公務員の管理職 4. 裁判官、検察官、弁護士

5. 大学教授•学長

6. 小中学校・高校の教頭・副校長・校長

7. 企業の技術者・研究者

8. 企業の管理職

9. 上場企業の役員

10. 起業家

11. 新聞・放送などの記者

12. 自治会長・町内会長

13. 医師 • 歯科医師

14. スポーツ指導者・監督など

15. 特にない

16. その他(

**17.** わからない

#### ■ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)についておたずねします。

◆ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)とは、やりがいのある仕事と充実した生活 (子育てや家庭生活だけでなく、地域活動や趣味・学習などのあらゆる活動が含まれる。)を 両立させながら個人の能力を最大限に発揮できるように支援する考え方や施策のことです。 仕事優先から仕事と家庭生活のバランスがとれた働き方や生き方への展開が求められるように なってきています。

「仕事」・・・自営業主、家族従業、雇用者として、週1時間以上働いていること。(フルタイム、パート、アルバイト、嘱託は問わない。) 「家庭生活」・・・家族と過ごすこと、家事、育児、介護、看護など 「地域・個人の生活」・・・自治会活動、ボランティア活動、交際、つきあい、学習、研究、趣味、娯楽、スポーツなど

#### 問26 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、 あなたの"理想"に最も近いものはどれですか。(あてはまるもの1つに〇)

- 1. 「仕事」を優先
- 2. 「家庭生活」を優先
- 3. 「地域・個人の生活」を優先
- 4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
- 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 8. その他(
- 9. わからない

#### 問26-2 あなたの"現実(現状)"に最も近いものはどれですか。

(あてはまるもの1つに0)

- 1. 「仕事」を優先
- 2. 「家庭生活」を優先
- 3. 「地域・個人の生活」を優先
- 4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
- 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 8. その他(
- 9. わからない

#### ■ 就労・働き方についておたずねします。

- 問27 あなたは、女性が職業を持つことについて、どうお考えですか。 ※女性の方はご自身について、男性の方はご自身の配偶者・パートナーについて、 お答えください。(あてはまるもの1つに〇)
  - 1. 結婚・出産にかかわらず、ずっと職業を持つ方がよい
  - 2. 結婚するまでは、職業を持つ方がよい
  - 3. 子どもができるまでは、職業を持つ方がよい
  - 4. 子どもができたら職業を中断し、大きくなったら再び職業を持つ方がよい
  - 5. 女性は職業を持たない方がよい
  - 6. その他(
  - 7. わからない

問28 あなたと、あなたの配偶者・パートナーの現在の勤務形態はどれにあてはまりますか。また、あなたの希望の勤務形態はどれにあてはまりますか。 ※配偶者・パートナーがいない方は、ご自身の欄だけ記入してください。 (それぞれ1つに〇)

	現在の勤	勤務形態	希望の勤務
	あなた	配偶者・	・ 形態 (あなた)
①常時雇用の正社員または正職員	1	1	1
②臨時雇、パート・アルバイト、非常勤、派遣等の非正規社員 (職員)	2	2	2
③自営業主または家族従業者	3	3	Ω
④専業主夫・主婦	4	4	4
⑤学生	5	5	5
⑥無職(専業主夫・主婦を除く)	6	6	6
⑦その他 ( )	7	7	7

#### <問28で、「収入のある職業についている方」に伺います。>

#### 問28-2 あなたが働いている主な理由は何ですか。(Oは2つまで)

1. 生活費を得るため 2. 住宅ローンや借金を返済するため

3. 将来に備えて貯蓄するため 4. ゆとりある生活をするため

5. 生きがいを得るため 6. 自立するため

7. 能力や技術を生かすため 8. 家業のため

9. 社会に貢献するため 10. その他( )

#### 問29 あなたは、女性が仕事を続けていく上で、特に障害になっていることは、 何だと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 結婚・出産退職等の慣行 2. 賃	賃金の男女格差
---------------------	---------

11. 職場における人間関係

3. 昇進・昇格における男女の格差 4. 仕事内容における男女の格差

5. 長時間労働や残業 6. 雇用形態にパートタイムや臨時雇が多いこと

7. 育児休暇が取得しにくいこと 8. 保育施設(保育園など)の不足

9. 介護休暇が取得しにくいこと 10. 介護施設(特別養護老人ホームなど)の不足

12. 家族に反対されたり、協力が得られないこと

13. 女性自身の知識や技術の不足 14. 女性自身の就業意欲が低いこと

15. その他 ( ) 16. 特にない 17. わからない

#### 問30 子育て、介護、家事などのために一時期、仕事を辞めた女性が再就職を希望する際、 どのような援助や対策が役に立つと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1. 再雇用制度(育児・介護などの理由で退職した方を再び元の職場で雇用する制度)
- 2. 子の看護休暇・介護休暇制度
- 3. 子育てや介護のための短時間勤務制度、フレックスタイム制度
- 4. 再就職のための講座やセミナー
- 5. 再就職のための職業訓練にかかる費用の助成制度
- 6. 保育所、学童保育など子育てしやすい環境の充実
- 7. ホームヘルパーや介護福祉施設の充実
- 8. 求人情報の提供
- 9. 家族の理解・協力
- 10. その他(
- 11. 特に必要な援助や対策はない

#### 問31 男性に比べ女性の管理職が少ない現状にありますが、その理由は何だと思いますか。 (あてはまるものすべてにO)

1. 必要な知識や経験を有する女性が少ないから

内閣府調査(H30) 民間企業(100人以上)の課長相当職 に占める女性の割合 11.2%

)

- 2. 時間外労働が多く女性には無理だと思うから
- 3. 勤続年数が短く、管理職になるまでに退職してしまうから
- 4. 家事、育児等の負担が多く管理職につけないから
- 5. 社会的・文化的に、管理職は男性という考え方や意識が残っているから
- 6. 上司、同僚、部下などの男性が女性管理職を希望しないから
- 7. 女性自身が管理職を希望しないから
- 8. 女性の管理職が身近にいないため、イメージがわかないから

9. その他(

10. わからない

# 問32 男女共同参画や女性の活躍を推進していくために、袋井市に対してどのような施策を望みますか。(あてはまるものすべてにO)

- 1. 男女平等を推進するための意識啓発
- 2. 男性が家事・育児・介護に参画するための意識啓発
- 3. 男女共同参画に関する情報提供や学習・交流などを支援する施設の整備
- 4. 男女共同参画に関する相談窓口の整備・充実
- 5. 審議会等の委員など、政策・方針決定過程への女性の積極的な登用
- 6. 女性の雇用促進と女性の職業訓練の充実
- 7. 女性の学習の場の充実、女性リーダーの養成
- 8. 女性のための法律知識などの周知徹底
- 9. 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進するための意識啓発
- 10. 家庭や職場などあらゆる場における男女共同参画に関する学習の推進
- 11. 経営者・事業主への働きかけ
- 12. 学校教育の場で、男女平等や相互理解のための学習の充実
- 13. 保育など子どもを対象にした各種施設の整備とサービスの充実
- 14. ドメスティック・バイオレンスなどをなくすための施策の充実
- 15. 介護など高齢者を対象にした各種施設の整備とサービスの充実
- 16. その他(
- 17. 特になし

の男女共同参画や女性の活躍	<b>選推進に関することで</b>	で何かご意見があり	ましたら、
ご自由にお書きください。			

)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 記入もれがないか、もう一度ご確認の上、同封の返信用封筒に入れ、封をして 切手を貼らずに 6月12日(金)までにポストにご投函ください。